

図書室だより



いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただきありがとうございます。

◆読み聞かせ会のお知らせ◆

とき…6月18日(日)午後2時~3時 ところ…文化の森てんえい図書室

読み手・・・柳沼光子さん 石井聡子さん

読み聞かせのほかに、手遊びの時間もあります(*'▽')

気軽にお越しください(*'▽')お待ちしております!!



◆絵の具でゆめもよう



◆流れ星

森の美術館

今月は広戸小学校の皆さんの作品です



◆ロケットZY100ばん

■今月のおすすめ本■

【K・Sさんおすすめ】



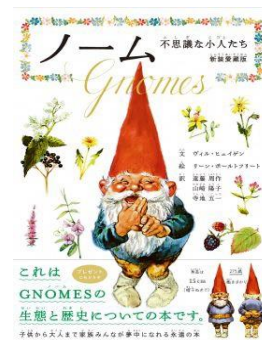
「ノーム 不思議な小人たち」愛蔵版

文 ヴィル・ヒュイゲン

絵 リーン・ポルトフリート

訳 遠藤周作 山崎陽子 寺地五一

出版社 グラフィック社



この本は、図書館の生物の棚で見つけました。ノーム？小人？何の本なの？と思いに取られました。A4サイズのずっしり重い本です。表紙には愛くるしい笑顔の小人が描かれています。オランダの人気画家、リーン・ポルトフリートさん

とそのお友達の医者、ヴィル・ヒュイゲンさんの2人が20年にわたり観察記録したものをまとめて本にしたものです。中を開くとノームの生態や衣食住について、リーンさんの素敵な絵とヴィルさんのわかりやすい文章で埋め尽くされています。ノームにも種類があって、住んでる場所によって性格が違い、人間や動物に友好的なノームと危険なノームがあります。ノームの身長は15センチほどで平均寿命は400歳、結婚適齢期の若者は100歳前後など、事細かくノームの情報が記されていて、後半にはノームにまつわる伝説もあります。私はノームが本当に実在している生き物なんだと思って、何の疑いもなく読みました。昔はあんなに大きな恐竜だっていたし、深海では生きた化石のシーラカンスが発見されました。宇宙人だっているかもしれないのに、こんな小人がいても、おかしくないですよ。読み終えた今も物語だったのか実話なのか、何とも不思議な気持ちになりました。

《新着図書》

一般書	
■残陽の廓	あさのあつこ
■花ざかりを待たず	乾ルカ
■やさしさを忘れぬうちに	川口俊和
■夜空に浮かぶ欠けた月たち	窪美澄
■はるか、ブレーメン	重松清
■誰に似たのか	中島要
■くもをさがす	西加奈子
■危険なふたり	樋口卓治
■いのちの十字路	南杏子
■あえてよかった	村上しいこ
■最後の祈り	薬丸岳
■闘いの庭 咲く女 彼女がそこにいる理由	ジェーン・スー
■老害の壁	和田秀樹
■マリコ、東奔西走	林真理子
■行きつ戻りつ死ぬまで思案中	垣谷美雨
■母は死ねない	河合香織
■風に訊け 空也十番勝負	佐伯泰英
■異変ありや 空也十番勝負	佐伯泰英
■異郷のぞみし 空也十番勝負決定版	佐伯泰英
■患者のエンドロール	米澤穂信
■氷菓	米澤穂信
■悩め医学生 泣くな研修医⑤	中山祐次郎
■はらぺこく美味>時代小説傑作選 細谷正充編	朝井まかて 他
■夫のカノジョ	垣谷美雨

《新着図書》

一般書	
■結婚相手は抽選で	垣谷美雨
■姫君を喰う話 宇能鴻一郎傑作短編集	宇能鴻一郎
■血管をよみがえらせる食事	コールドウェル・Jr
■料理が身につくお弁当	角田真秀
■老犬 暮らしの便利帳	俵森朋子
■ゆるくてかわいい はじめての刺しゅう	ありま
■はじめての梅仕事	榎本美沙
■パソコンのしくみがよくわかる本	丹波信夫
バイリンガル絵本	
■いのちはかぜのように	ショーナ・イネス
■かわいいことりちゃん	コナツマキコ
■くまさん くまさん なにみてるの？	ビル・マーチン
■ぼちぼちいこか	マイク・セイラー
■じぶんだけの いろ	レオ＝レオニ
■羽をパタパタさせなさい	P.D. イーストマン
■はらぺこあおむし	エリック・カール
■どこへいくの？ ともだちにあいに！	いわむらかずお

◆おすすめ本を書いてみませんか!◆

対象は「文化の森てんえい図書室」にある本です。
掲載文字数は200文字程度。掲載者にはお礼の記念品を
贈呈致します。皆さまのご応募お待ちしております。

